

おおぞら



会報 45 号

平成28年4月1日発行

特定非営利活動法人おおぞら会

理事長 関口 節子

〈法人事務局〉

〒133-0056

東京都江戸川区南小岩 6-11-6

URL www.ohzorakai.com

e-mail ozora-kai@r2.dion.ne.jp

陽春の候、皆様にはご清祥でお過ごしのこととお喜び申し上げます。
皆様には日ごろより、おおぞら会の活動にご理解を賜りましてありがとうございます。

さて、平成27年度はグループホームが2か所、B型事業所（パン工房）の開設を行い、おおぞら会の飛躍の年とすることができました。今後は人的な面でもさらに質の高い支援ができる体制作りを目指します。そのためには職員の資質の向上が不可欠であると考えます。

仕事に対する熱意があることはもちろんですが、自分自身の健康管理に努め、ベストな状態で利用者様と向き合うことが必要です。また言葉遣い、態度は他の業種にもまして重要なものです。

おおぞら会は常に職員の資質向上を図り、最善の支援の実践を目指して努力して参りたいと思います。今後ともご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成28年4月

特定非営利活動法人おおぞら会

理事長 関口 節子



全メンバーの集い・入社式



平成28年度4月1日入社式を行いました。

今年度も新入メンバーが加入しました！！

新社会人として立派に挨拶をしてくださいました。その姿はこれからメンバーの一員として頑張ろうという決意が感じられました。

各事業所案内も各先輩メンバーからご紹介しました。ファンタジア、まちの駅、ル・マンマそれぞれの良さが出た発表でした！

今年度も3事業所共々よろしくお願い申し上げます。（大石）

おおぞら会、各事業所のそれぞれの魅力♡

相談支援センター おおぞら

相談支援センターおおぞらは昨年4月から始まり、丸1年が経ちました。最初は法人内の事業所を利用されている方々のお問合せが多かったのですが、ありがたいことに最近ではおおぞら会と今まで直接関わりがなくとも、新規に計画相談支援を利用したいというお声をたくさん頂戴しています。おおぞら会の相談支援サービスは“傾聴する姿勢”と“レスポンスの速さ”を大切にしており、それが



魅力としてご利用者様に伝わっているのではないかと思います。「おおぞら会の相談支援を利用してよかった」、「相談支援専門員は頼りになる」と思っているようこれからも頑張っていきます。

相談支援センター おおぞら
センター長 大石 徹

放課後子ども・デイセンター

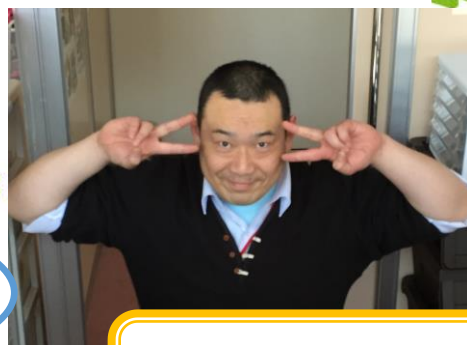
あっという間に27年度も終わり、28年度が開始されます。新たに職員も変わり心機一転のスタートです。28年度はより支援の質の向上を目指し事業所理念でもある『将来を据えた支援』を志していきたいと思ひます。事業所の魅力は、理念の中の一つ『社会適応能力の向上・維持』が大きなテーマです。実践の場で公共交通機関（電車・バス）使用。買い物支援（金銭管理・購入方法）・外出支援・買い物シュミレーション・対人・集団関係・区外での気持ちのリフレッシュなど様々な支援を導入しております。そこでなければ経験できない事・学習出来ない事を支援の中心におき環境設定に重視しています。その為ほとんど内（デイ内）にいる事は少なく何かと外で活動があるという事が大きな魅力です。



実践の場での買い物支援も行っています！！



デイ内でもお買い物に挑戦！！



子どもデイセンター
所長 植杉 敏明

グループホーム

毎年春、会報用に記事を書かせていただき、感謝と共に気持ちが引き締まります。日ごろの皆様のご協力により、グループホーム事業は順調に展開しております。三月には南小岩七丁目にグループホーム専用住居が完成し、新たにご利用者様九名が地域での暮らしをはじめられます。グループホームの暮らしの魅力は何と言っても、地域での暮らしが味わえること、地元江戸川、葛飾の楽しみをたくさん見つけていただきたいと考えています。今年度こそ、地元の楽しみへのご案内や、行事、サークルを生み出したいと思っています。職員一同体制を整えて努力していきたいと考えています。



グループホーム
ホーム長 川村 恵美子

ピカピカの新築
のホームです☆

グループホーム（GH）は共同生活をしながら生活訓練の場であることは皆さんご存知かと思います。

GHには、二つの種類があり、一つは通過型と言って3年間で独り暮らしの力をつけ、アパートなどに移って暮らしていくタイプと滞在型と言って、自立に向けての訓練の場ではあるが食事の提供やより支援内容が多くあり、期間限定が無いので自信が付くまではずっと暮らし続けられるタイプがあります。

おおぞら会は滞在型で運営され、サービス提供量の多さから多くの支援機関や医療関係者からは是非、入居させたいと切望されています。

今年度も頑張って支援して行きましょう！



グループホーム
ホーム次長 藤原 秋豊



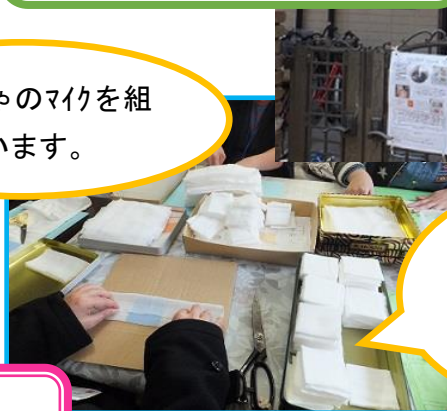
就労支援センターファンタジア

昨年の4月にファンタジアへ移動になり1年が過ぎようとしています。この1年振り返って感じたことは大石センター長をはじめとするスタッフが、目立たないところでしっかりと利用者さんを支えている所がじまんです。また、利用者の方々も自分らしくお仕事されている姿が大好きです。今年度は、益々成長できるように皆で協力して顔晴（がんばる）ってやっていきたいと思っています。

ファンタジア
センター次長 荒 達男



おもちゃのマイクを組立しています。



ガーゼを丁寧に裁断、折りたたみます。

柴又まちの駅・ファンタジア

こんにちは。柴又のまちの駅ファンタジアです。葛飾区で初めての『まちの駅』です。

まちとまち、人と人をつなぐコミュニティ・カフェとなっています。当店は障害のある方々と一緒に接客・キッチン補助作業・お菓子作りを行っています。笑顔あふれる活気のある職場です。特に柴又モーニングの食パンは第3ファンタジアの工房（ル・マンマ）で焼いたもので、サラダ・ヨーグルト・ゆで卵・ドリンクがついて¥300で販売しています。一度食べに来てくださいね。従業員一同、ご来店をお待ちしております。

柴又まちの駅・ファンタジア
駅長 渡邊 厚孝



店頭でのお菓子販売♪

ウエルピアにて販売会



パン工房 ル・マンマ

パン工房ル・マンマがオープンしてから5か月、B型事業所としてスタートしてから3か月经ちました。1階ではパン作り、2階では自主生産品作りをしています。国産小麦100%天然酵母を使用した美味しいパン、つまみ細工やくるみボタンを使ったアクセサリー、カードやポチ袋などのステーションナリーと様々な商品を作っています。店舗で実際に売れる瞬間を見られることも魅力の一つです。利用者さん自ら考えた商品が売れたときは嬉しさ倍増で「さらに良い商品を！！」と向上心が高まります。

パン工房 ル・マンマ
大石 由美子



おおぞら会全体研修

平成28年2月22日各事業所の職員混合でグループワークを行いました。

- ① 各事業所紹介②連携について③おおぞら会10周年を記念して取り組みたいこと



グループホーム内での利用者の顔しかなかったのが就労施設の活動や作品など知れたのが一番の大きな気付きでした。(グループホーム)

ご寄付

社会福祉法人 東京都共同募金会様より、備品整備費用として頂きました「地域配分」でプロジェクター、パソコン、デジカメを購入致しました。職員研修で使わせて頂きます。ありがとうございました。

内部研修会に参加し、他の事業所の活動内容を知る機会になるとともに、グループワークを通して連携の大切さを改めて学ぶことが出来ました。今後、他の事業所の職員の方々とも連携を重ね、より良い支援を目指していきたいと思いました。
(子どもデイ)